

橘神社本殿等屋根

大改修事業協力のお願ひ

事務局長 若木 利博

1 橘神社は、橘中佐生誕の地である長崎、また縁の地である名古屋、

東京、静岡、及び日本各地より浄財の寄進が集まり、昭和15年には軍神

橘周太中佐の尊霊を祀り、雲仙国立公園の麓の小高い山を造成し、長崎

県社として創建されました。終戦後まもなく県社としての地位は喪失

し、参拝される方も激減しましたが、今日では初詣に約十万人の参拝者が

訪れ、春は境内に植えられた約千本の桜の花見で賑わっています。15年

ほど前から、当神社の再興を願う地元有志の方々のご奉仕により、ギネスに認定された正月の大門松（高さ

14m）、神社入り口の真冬の川に入る大寒褌、爛漫と咲き乱れる橘神社

夜桜の中を練り歩く150名ほどの武者松明行事などが有名となり、軍神を祭神と奉るにふさわしい神社として認識され、年間約9万人の参拝

者が訪れております。

また、春・秋の大祭時には長崎偕行社から旧軍将校の方を含め、隊友会・自衛隊家族会から多数の方が出

席され、在郷の自衛隊から戦技競技会等の必勝祈願や安全祈願などで参拝されています。毎夏、板妻駐屯地では34普通科連隊主催で開催される「橘祭」には神社総代とともに宮司も出席されており。

今般、御鎮座80周年記念事業の一環として、全体的な銅板葺き替え工事を

実施することになりました。橘神社奉賛会事務局が事業を担当しています。

本事業は、下記に記載している要領で大改修を計画しておられ、偕行社としても、ご祭神の慰霊・顕彰の趣旨に

賛同し、本事業の達成に寄与したいと考えており、特に会員の皆様、並びに

各地偕行会及び陸軍士官学校・幼年学校等の各期のご奉賛を、お願いする次第です。

*ご参考：軍神橘周太中佐は、帝国陸軍軍人であり、慶応元年（1865年）

9月15日、長崎県に生まれる。日露戦争における遼陽の戦いで戦死し、以後

軍神として尊崇されています。官位は陸軍歩兵中佐正六位勲四等功四級で

す。橘中佐は、漢詩に造詣が深く、名古屋陸軍幼年学校校長時代は自ら教壇

に立ち、漢文を弁ずることもある教育熱心な軍人でした。

2 屋根大改修事業の概略及び寄附受けの要領

(1) 事業の概要は、本殿・拝殿・英霊舎・手水舎の屋根銅板葺き替え及び屋根部材の一部補修であり、工事期間を

平成30年4月上旬から7月上旬までの約3ヵ月間を予定しています。

(2) 事業総経費は、約2千6百万円であり、募集目標額を5百万円とし、寄附受けの期間を平成30年4月から7月

までの3ヵ月間としています。

○ 銅板奉納金：一口 2千円
*葺き替え用の新しい銅板には、ご寄附された方々のお名前・願ひ事等を記入します。

*5口以上の奉納者には、記念品をお送りします。

*振込用紙に住所・氏名・願ひ事をご記入の上、納入して下さい。

○ 寄附募財の受付及び連絡先：橘神社社務所

TEL：0957-37-2538

○ 振込先 郵便振替：01700-8-146615

○ 他金融機関からの振り込み：179店 当座0146615

○ 書留でご送付される方は下記住所にお願ひ致します。
〒854-0406 長崎県雲仙市

千々石町巳529番地

橘神社奉賛会 事務局

重ねて、ご協力をお願い致します。

